

# 平和を考える〈1〉 ボンヘッファーの平和倫理

講師 山崎 和明 (四国学院大学名誉教授)

ルター派の牧師・神学者ディートリヒ・ボンヘッファー (1906～1945) は、1930年代当時、ドイツではまれな〈非暴力平和主義〉者として、世界教会においてもドイツ国内においても活躍していた。K.バルトより早く、ドイツ「教会」闘争を開始していたボンヘッファーは、第二次世界大戦が勃発してから、1940年以降、国防軍防諜部囑託となり、ヒトラー暗殺・クーデタ計画に参画する。愛敵思想を説教し実践していた彼が、いかにして〈政治的実力抵抗〉への道を決断したのか、彼の〈抵抗の論理と倫理〉を解明する。

日時 2019年 **4月20日** (土) 13:30～17:30 (受付13:00)

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面を  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 ご覧ください。

参加費 1,500 円、学生 1,000 円(資料+コーヒー代込み)

◎スケジュール◎

13:30～15:00 発題講演

15:00～15:30 コーヒーブレイク

15:30～17:30 質疑とはなしあい

\*要申込み\* 4月17日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込み下さい。



山崎 和明 やまさき かずあき

1953年大阪市生まれ。大阪市立大学法学部卒、同法学研究科博士課程修了(法学修士)。2002年東北大学法学研究科(法学博士)。1983年より四国学院大学専任講師、助教授、教授、大学院教授を経て、定年退職(2018年)。その間、ミュンヘン大学(1976/77、2008/09)、ボン大学(1982/83)、ハイデルベルク大学(1989/90)にて、E. ファイル教授、E. ベートゲ教授、K. D. ブラッハー教授、H. E. テート教授の下、ボンヘッファーおよびドイツ教会闘争を研究。日本ボンヘッファー研究会前会長。

ボンヘッファー関連の訳・著書としては、E. & R. ベートゲ著・宮田光雄共訳『ディートリヒ・ボンヘッファー』、E. ファイル・日本ボンヘッファー研究会共訳『ボンヘッファーの神学』、H. E. テート・宮田光雄、他共訳『ヒトラー政権の共犯者、犠牲者、反対者』、『D. ボンヘッファーの政治思想』など。

「社会」 第2回 7月27日(土)

<平和を考える 2>

「憲法9条と自衛隊—両立か対立か—」

講師：松竹 伸幸（編集者・ジャーナリスト、「自衛隊を活かす会」事務局長）



「いのち」 10月12日(土)

「ゲノム編集 何が問題か」 (仮)

講師：中山 潤一（基礎生物学研究所クロマチン制御研究部門教授）

土井 健司（関西学院大学神学部教授）

「福祉」 第1回 6月29日(土) [共催・会場 京都YWCA]

「こども・若者を応援する大人に求められるもの  
～釜ヶ崎「こどもの里」の取り組みから」 (仮)

講師：荘保 共子（特定非営利活動法人こどもの里 理事長）

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール [office@academy-kansai.org](mailto:office@academy-kansai.org)

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



●市バス 5・31「修学院道」、北8・65「修学院駅前」下車、徒歩20分。

●京阪「出町柳」から乗り換え 叡山電車「修学院」下車、徒歩約20分

●地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅まで迎車をお出しします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄から、タクシーご利用の場合は、最寄りの松ヶ崎駅より北山駅のほうが拾いやすいです。

2019年度 修学院フォーラム「社会」第1回 参加申込書

(フリガナ)					
名前	所属				
住所〒					
電話 ( )	—	FAX ( )	—	携帯 ( )	
電子メール:	@				
通信欄:					